

第2期宇都宮市中心市街地活性化基本計画（素案）に関するパブリックコメントについて

1 パブリックコメントの実施状況

- (1) 意見の募集期間 平成 27 年 1 月 30 日 ～ 2 月 20 日 まで
- (2) 意見の応募者数 2 名 (男性 人, 女性 2 人)
意見数 6 件
- (3) 提出方法の内訳

	郵送	ファクシミリ	Eメール	持参	電話	計
人数		1		1		2

2 意見の処理状況

区分	処 理 区 分	数
A	意見の趣旨等を反映し、基本計画に盛り込むもの	
B	意見の趣旨等は、計画案に盛り込み済みと考えるもの	1
C	基本計画の参考とするもの	5
D	基本計画に盛り込まないもの	
E	その他、要望・意見等	
	計	6

意見番号	意見の概要	処理区分	意見に対する市の考え方
1	街なかに、買い物だけでなく子ども連れの家族が楽しめる公園のようなものがあると楽しいと思う。身体を使った遊びの道具（アスレチックなど）があり、子どもたちが存分に遊べるように、ビルの中ではなく道路と続いている場所に作って欲しい。	C	本計画では、目標と施策の体系において、「＜目標2＞街なかならでは魅力と賑わいあふれるまち」を掲げ、多くの人が集まり賑わう中心市街地であり続けるため、「地域資源を活用した魅力づくり」などに取り組んでいくこととしております。 これまでも、屋外の遊び場や親子で集う場所として、広い芝生のある「宇都宮城址公園」や、大型複合遊具等のある「八幡山公園」、川沿いの散策や川と触れ合うことができる「釜川プロムナード（遊歩道）」などを整備したところではありますが、街なかで買い物以外に様々な形で楽しめる場所があることは、一層の賑わいの創出につながりますことから、計画に計上した「公共空間を活用した賑わい創出事業」などの検討におきまして、ご意見を参考にしながら、子どもから大人まで楽しめる魅力ある空間づくりに取り組んでまいります。
2	リフレッシュのためのスポーツ施設があると良いのではないかと。あまりスペースをとらない卓球ができる所など	C	意見番号1のとおり、街なかで買い物以外に様々な形で楽しめる場所があることは、一層の賑わいの創出につながりますことから、ご意見を参考にしながら、活力と賑わいあふれる中心市街地の形成を目指してまいります。

意見番号	意見の概要	処理区分	意見に対する市の考え方
3	待ち時間や買い物などの休憩時に立ち寄ることのできる小さな図書館をつくれれば良いのではないかと。学習スペースがあれば、学生も利用しやすいと思う。	C	意見番号1のとおり、目標と施策の体系において、「＜目標2＞街なかならではの魅力と賑わいあふれるまち」を掲げ、多くの人が集まり賑わう中心市街地であり続けるため、「地域資源を活用した魅力づくり」などに取り組んでいくこととしております。街なかにおいては、現在、中央生涯学習センターにおいて図書室や市民交流コーナーを設置しておりますが、ご提案の内容を参考にしながら、街なかにおける憩いの場などの充実に取り組んでまいります。
4	空き店舗を活用し、ファッション雑誌に掲載されているお店のセレクトショップを開業したら良いのではないかと。比較的狭いスペースで開業することが可能なため、1つの店舗に複数のセレクトショップが入ると思う。	C	本計画では、目標と施策の体系において、「＜目標1＞宇都宮の“顔”となり市全体をけん引する活力あふれるまち」を掲げ、「地域経済の活性化」などに取り組んでいくこととしております。ご提案の内容を参考にしながら、引き続き、空き店舗対策や空き店舗の有効活用などにつきまして、商店街等と連携・協議し、魅力ある商店街の形成に取り組んでまいります。
5	賑わいにつながることから、オリオンスクエアなどで、「お笑いフェス」を開催したら良いのではないかと。	C	拠点広場であるオリオンスクエアやバンバひろばを活用した様々なイベントの開催等により、街なかの歩行者・自転車通行量が増加するなど賑わいの創出が図られてきたところであります。イベントの開催は、街なかの賑わい創出につながることから、ご提案いただいた内容を参考にしながら、引き続き、多くの人が集まる魅力的なイベントの開催などに取り組んでまいります。
6	オープンカフェの設置をぜひ進めて欲しい。宇都宮の名物である「餃子」を利用したホットドックを提供するなど工夫をこらして、おしゃれで話題になるようなものが良い。	B	本計画におきましては、「公共空間を活用した賑わい創出事業」を計上し、街なかの賑わいや憩いの場の創出に向け、道路などを活用してオープンカフェ等の設置に取り組むこととしており、事業実施にあたりましては、ご意見を参考にしております。